



新発田市立紫雲寺小学校

学校だより

3月20日号

<http://shiunjies.shibata.ed.jp>

変わる

校長 土田 志津子

「皆川先生、今日も、残渣ゼロだよ。」 「うわあ、2年生すごいねえ。」

「ええ？ 1年生も残渣ゼロ！」

「2年生みたいに、残渣連続5日の大型賞状もらうんだ。エイ、エイ、オー。」

これは、最近第1ホール辺りから聞こえてきた歓声です。市の食育推進課で推進している取組で、給食の残渣調べをしています。好き嫌いなく食べ、作ってくれた人への感謝を込めて、できるだけ残さないで食べさせたいと考えています。当校の残渣量は少なくない方でした。そこで、担任と子どもたちが一丸となって、準備時間短縮、食べる時間確保、めあてをもたせるなど様々な工夫をしてきました。その成果が、冒頭の子どもたちと、残渣担当の会話になります。一番多かった時期の1/4に減っています。どの学年もがんばることで達成した成果です。



(皆川教諭手作りの賞状)

また、給食の時間確保という目標から付随して、授業の開始時刻もしっかり守ろうということを変更して確認したところ、授業に遅れてくる子どもたちはいなくなりました。教師も子どもも、時刻を気にする姿が、このようなことができることに繋がったのだと思います。

どの学級をまわっても、学習のねらいが黒板に書かれ、最後に、学習でということが分かったのかななどをふり返ってノートに書くような子どもたちの姿が見られます。付随して、以前よりノートの書き方や文字が丁寧になってきています。殆どの子どもは、不要な学用品を持ってこなくなりました。今年度取り組んできた“学習におけるUDL”の成果が出てきています。教師が取り組んだことで、子どもたちが変わってきたということです。

挨拶も、この一年でかなり良くなりました。自分から先に挨拶をする子どもも以前より増えてきました。道路横断の時に、止まってくれた車に、“ありがとうございます”の「お辞儀」をする姿も増えてきました。

4月の始業式に、学んで「変わる」という話をしました。この一年、子どもたちは、しっかり学んで、できるようになった姿を、たくさん、たくさん見せてくれました。とても嬉しかったです。

子どもたちを支え励ましてくださった保護者の皆様、地域の皆様のおかげです。皆様の温かいご協力・ご支援に感謝申し上げます。

れんぎょうパトロール隊、稲荷岡1自治会のみなさま

今年度も残すところあと僅かになりました。一年間子どもたちの安全を見守っていただきまして誠にありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは事故もなく通学することができました。今後ともよろしく願いいたします。

3月24日(火)は卒業式の関係で、登校時刻は8時45分です。

いつもより30分遅くなっています。



～もうすぐ卒業～

もうすぐ卒業する6年生。卒業する前に感謝の気持ちを全校の人たち、先生方にどう伝えられるか考え、仕事を分担して取り組んできました。伝統ある紫雲寺小学校の卒業生であることの誇りを胸に巣立ちの日を迎えてほしいと願っています。

6年担任 木暮 雄大

☆文集編集

7人（安達空・梅川統次・大沼陽彩・金田珠里・北原博企・竹内萌笑・原由希音）の文集係は卒業文集にのせる先生方からのメッセージを依頼したり、中表紙のイラストを描いたりしてくれました。自分たちが協力して作った卒業文集がクラスのみん



☆あいさつ運動ポスター

3人（鹿野菜々香 桐澤春菜・桐澤由利）が全校に挨拶を広めようと描いてくれました。残り少ない中で何か全校に残したいという気持ちが伝



☆全校放送

子どもたち全員が全校放送を使って、6年生への感謝のメッセージを発表してくれました。招待給食のこと、六送会のことを自分たちの思いを聞いてもらいました。こうした取組が全校みんなを優しい気持ちにさせてくれると思います。1年



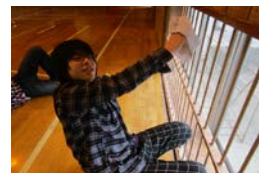
☆ありがとう感謝弁当作り

6年生は「ありがとう弁当」を作るために、家庭科の時間、実習計画を立てました。17日当日は6年生全員が心をこめて作って、先生方に6年生全員の気持ちを伝えました。



☆クリーン作戦

6年間お世話になった校舎に感謝して、普段掃除しない所を掃除をしました。少しでも多くの場所を掃除して卒業します。これからも紫雲寺小学校を大切



2月27日に六送会がありました。下学年からの「ありがとう」の気持ちがいっぱい詰まったあたたかい会でした。とっても嬉しそうな6年生でした。

うれしかったね！楽しかったね！六送会



何か素敵なものを残してくれたそんな六送会でした。一人一人の表情は、やりきった気持ちに溢れていました。